

学科名	マンガ・アニメーション科四年制
コース名	キャラクターデザインコース
授業科目	デッサン4
必選	必
年次	3年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	45
単位数	1
担当教員	大槻 透、斉藤里香
実務経験	有
実務経験職種	画家
授業概要	素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備える。
到達目標	描画材料の使用法に始まり、素描の基礎の基礎から学ぶ中で、癖なく、正しい素描の表現を出来るようになる。 次年度の応用へ向けて基礎的な描写力を備え、知識・技術を学ぶだけでなく完成まで描き切れる集中力の持続力も備えられるようになる。
授業方法	対面方式にて実習形式で行う
成績評価方法	課題 80% 課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価 授業態度 20% 作品制作への積極性を評価
履修上の注意	苦手意識があっても手を止めず描き続ける事が重要。 実習授業ゆえに、集中力の無い学生や苦手意識の高い学生が手を止めたり居眠りをする場合が有るので、 逐一巡回、個人指導を行う。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	必要に応じて授業にて資料配布を行う

授業計画	
第1回	室内風景と人物 建物のパース。作者の視点。
第2回	室内風景と人物 風景と人物を矛盾なく一つの空間に描く
第3回	室内風景と人物
第4回	黒画用紙に白で描く 静物 黒画用紙に白色鉛筆で光を描く
第5回	黒画用紙に白で描く 静物 改めて光と影、物の見方を整理する
第6回	黒画用紙に白で描く 静物 丁寧な観察による陰影表現と量感 測量と比較
第7回	静物Ⅱ（金属パイプ、ビニールボール、瓶、格子柄の布） 空間を生かした構図の工夫。様々な接地の理解
第8回	静物Ⅱ（金属パイプ、ビニールボール、瓶、格子柄の布） 基礎形態の反復による基礎力の強化
第9回	静物Ⅱ（金属パイプ、ビニールボール、瓶、格子柄の布） 様々な質感の描き分け 立体感
第10回	自画像写真模写 撮影から始め、出力。グリットによる転写。
第11回	自画像写真模写 ヴァルール。生き写しの様な完成度をを目指す
第12回	自画像写真模写
第13回	大型静物（剥製、牛骨、タイヤ） 大型複数モチーフ。空間把握と構図の工夫。
第14回	大型静物（剥製、牛骨、タイヤ） 質感の違いに注目し完成度高く仕上げる
第15回	大型静物（剥製、牛骨、タイヤ） 一年間のまとめ

学科名	マンガ・アニメーション科四年制
コース名	マンガコース
授業科目	デッサン4
必選	必
年次	3年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	45
単位数	1
担当教員	まつやま登
実務経験	有
実務経験職種	マンガ家
授業概要	人物の作画力・表現力に焦点を充て、人体骨格を常に意識したキャラクター制作や、シチュエーションによる動き等を、学ぶことを主目的とする。人体の知識を学んでいくと共に、クリップスタジオ、フォトショップ、イラストレーター等のデジタルソフトを使用して、装丁やキャラクターのアバター化等、デザインに関しても理解を深めていく。
到達目標	この科目では、人体についての学びや、デザインの知識を深めることにより、キャラクター単体の創作力を磨くこと共にデザインに関する知識・技術を経験して、マンガだけに留まることなく様々な作品を制作していくことを主目標としている。卒業後の就職やフリーランスの活動に流用していくことのできる技術・知識も合わせて身に着けることも目標とする。
授業方法	マンガ制作における高度な専門ツールの使い方や制作技法を学びます。
成績評価方法	作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。
履修上の注意	この授業では、1年次の授業の応用となるため復習を行い、授業内ではしっかりと先生の話聞くだけでなく、必ずメモを取るよう指導を行う。常に制作する作品は仕事と同義であると認識させ締切を守る意識を養うため課題の提出厳守及び、遅刻や欠席は認めない。4分の3以上の出席をしない者は、課題の評価対象にならない。
教科書・教材	毎回資料をデータ・レジュメで配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

授業計画	
第1回	クリップスタジオ応用① 一点透視（廊下）① ソフト基礎スキルの確認
第2回	クリップスタジオ応用② 一点透視（廊下）② 1点透視図法の作画技法を理解・身に着ける
第3回	クリップスタジオ応用③ 一点透視（廊下）③提出 着色と効果スキルを身に着ける
第4回	クリップスタジオ応用④ 食べ物イラスト 物の質感とデザイン力を身に着ける①
第5回	クリップスタジオ応用⑤ 花 物の質感とデザイン力を身に着ける②
第6回	クリップスタジオ応用⑥ 花とキャラクター 物の質感とデザイン力を身に着ける③
第7回	マニュアルマンガ① ビジネスコミック練習 3.5頭身サラリーマン マニュアルマンガの制作スキルを身に着ける①
第8回	マニュアルマンガ② ビジネスコミック練習 2Pマンガ（ネーム提供） マニュアルマンガの制作スキルを身に着ける②
第9回	マニュアルマンガ③ ビジネスコミック練習 2Pマンガ（ネーム提供） マニュアルマンガの制作スキルを身に着ける③
第10回	マニュアルマンガ④ ビジネスコミック練習 2Pマンガ（ネーム提供） マニュアルマンガの制作スキルを身に着ける④
第11回	課題調整日 課題回収 諸事情により課題遅延学生への対応と相談日
第12回	クリップスタジオ応用⑦ ラインレス塗り クリップスタジオのスキル応用
第13回	卒業制作① 修了卒業制作進行 卒業制作マンガ単行本デザイン①
第14回	卒業制作② 修了卒業制作進行 卒業制作マンガ単行本デザイン②
第15回	卒業制作③ 修了卒業制作進行 卒業制作マンガ単行本デザイン完成

学科名	マンガ・アニメーション科四年制
コース名	アニメーションコース
授業科目	デッサン4
必選	必
年次	3年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	45
単位数	1
担当教員	大槻 透、斉藤里香
実務経験	有
実務経験職種	画家
授業概要	素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備える。
到達目標	描画材料の使用法に始まり、素描の基礎の基礎から学ぶ中で、癖なく、正しい素描の表現を出来るようになる。 次年度の応用へ向けて基礎的な描写力を備え、知識・技術を学ぶだけでなく完成まで描き切れる集中力の持続力も備えられるようになる。
授業方法	対面方式にて実習形式で行う
成績評価方法	課題 80% 課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価 授業態度 20% 作品制作への積極性を評価
履修上の注意	苦手意識があっても手を止めず描き続ける事が重要。 実習授業ゆえに、集中力の無い学生や苦手意識の高い学生が手を止めたり居眠りをする場合があるので、 逐一巡回、個人指導を行う。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	必要に応じて授業にて資料配布を行う

授業計画	
第1回	室内風景と人物 建物のパース。作者の視点。
第2回	室内風景と人物 風景と人物を矛盾なく一つの空間に描く
第3回	室内風景と人物
第4回	黒画用紙に白で描く静物 黒画用紙に白色鉛筆で光を描く
第5回	黒画用紙に白で描く静物 改めて光と影、物の見方を整理する
第6回	黒画用紙に白で描く静物 丁寧な観察による陰影表現と量感 測量と比較
第7回	静物Ⅱ（金属パイプ、ビニールボール、瓶、格子柄の布） 空間を生かした構図の工夫。様々な接地の理解
第8回	静物Ⅱ（金属パイプ、ビニールボール、瓶、格子柄の布） 基礎形態の反復による基礎力の強化
第9回	静物Ⅱ（金属パイプ、ビニールボール、瓶、格子柄の布） 様々な質感の描き分け 立体感
第10回	自画像写真模写 撮影から始め、出力。グリットによる転写。
第11回	自画像写真模写 ヴァルール。生き写しの様な完成度をを目指す
第12回	自画像写真模写
第13回	大型静物（剥製、牛骨、タイヤ） 大型複数モチーフ。空間把握と構図の工夫。
第14回	大型静物（剥製、牛骨、タイヤ） 質感の違いに注目し完成度高く仕上げる
第15回	大型静物（剥製、牛骨、タイヤ） 一年間のまとめ